

米棉ダンピング説

アーベルト大統領が議會に聲明した米棉新政策は果して議會が之に協賛を與へるか否かもは不明であり、その内容についても何んな具體策が採られるか詳細明瞭を以て到り、當地人棉花商筋でもなほ暗中摸索、たゞ臆測を試みる程度だと云はれる、然し乍ら最近の米棉はその過剰生産により巨大なストックを抱し全く行き詰りの状態に立つて何とか之が打開策を講ぜざるを得ない立場にあることは明らかである。

大體大統領の棉花新政策の要領は、ストックの解放、棉作者の保護、輸出の補助促進と見てよいようである。その中最重要なのは米棉輸出計畫である。而して輸出を促進するにあることは勿論で、之を解消せねば米棉は現在の値では行かぬことは大統領明中である、少くともダンピング低下を図るより外方法がないことも又見易い道理であらう。

従つて米國政府の輸出補助が決行されることは大統領が新規市場における米棉價格の低下を図るより外方法がないことである。而して輸出を促進するには米棉が伯國その他新規市場に第一に設かれてゐる通りである。而して輸出を促進するにあることは勿論で、之を解消せねば米棉は現在の値では行かぬことは大統領明中である、少くともダンピング低下を図るより外方法がないことも又見易い道理であらう。

従つて米國政府の輸出補助が決行されることは大統領が新規市場における米棉價格の低下を図るより外方法がないことである。

英國は伯國の棉花新政策を採用するに至つた、而しては

新政策は伯國側では更効

的な動きを見せるに至つた、而

風旋花棉

若し米棉投賣り實施せば
我れに自衛手段あり

聖州精棉業者組合側では樂觀

ルーズベルト總統が
議会に送る
た棉花政策
に關するス

テートメントは米國は勿論の事
世界に大波紋を投じたが
サハラ期である棉花と
對岸の大災禍出來る重大
問題である、米國が今直ちに
棉花の採買りをやるか否か
は米國のお勝元に於て予測を許
反對する者もあつて予測を許
さぬが、一千百萬俵の巨大な
ストックを持つ米國としては
何れ等かの明らかで
タクを捌くことは明らかで
又一千百萬俵の手持持のうち
二百萬俵は議會の放棄を経て
して政府が勝手に賣り捌き出
来る事となつてゐるので何日
何時投賣りやも知れず、最

戦争ごつこの繪を轉載
邦人同化問題へ難癖

伯字紙

國粹教育

を轉載

ノロ線のトツブ
グワイサーラ陸上大會

皆さんサヨナラ！
桑島大使けふ歸府

トツブ

アウローラ

断然優勝

ノロ線

トツブ

アウローラ

断然優勝

